

Q001

TRAVEL-1731

総合演習 / 4択 / 標準

旅行業務取扱管理者の役割に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅行者を添乗する者だけを指す。
2. 営業所における旅行契約に関する事務を管理・監督する者である。
3. 旅行商品の広告制作だけを担当する者である。
4. 国内旅行では選任義務がない。

答え・解説

正答：2. 営業所における旅行契約に関する事務を管理・監督する者である。

解説：旅行業務取扱管理者の役割では「営業所における旅行契約に関する事務を管理・監督する者である。」が基本です。

要点：旅行業務取扱管理者の役割

Q002

TRAVEL-1732

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、営業所ごとの選任で正しい理解はどれか。

1. インターネット販売だけなら選任義務はない。
2. 本社に1名いれば全営業所で足りる。
3. 旅行者等は営業所ごとに旅行業務取扱管理者を選任する必要がある。
4. 外務員がいれば旅行業務取扱管理者は不要である。

答え・解説

正答：3. 旅行者等は営業所ごとに旅行業務取扱管理者を選任する必要がある。

解説：営業所ごとの選任では「旅行者等は営業所ごとに旅行業務取扱管理者を選任する必要がある。」が基本です。

要点：営業所ごとの選任

Q003

TRAVEL-1733

総合演習 / 4択 / 標準

総合旅行業務取扱管理者に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 主たる営業所所在地の隣接市町村までの範囲など、限定的な業務範囲に対応する資格である。
2. 海外旅行を取り扱う営業所では総合旅行業務取扱管理者の資格が必要となる。
3. 旅行業を営むには、業務範囲に応じた登録を受ける必要がある。
4. 国内旅行のみを扱う営業所で必ず総合資格者だけが必要である。

答え・解説

正答：4. 国内旅行のみを扱う営業所で必ず総合資格者だけが必要である。

解説：誤りは「国内旅行のみを扱う営業所で必ず総合資格者だけが必要である。」。総合旅行業務取扱管理者では「海外旅行を取り扱う営業所では総合旅行業務取扱管理者の資格が必要となる。」が基本です。

要点：総合旅行業務取扱管理者

Q004

TRAVEL-1734

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、国内旅行業務取扱管理者の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 国内旅行のみを取り扱う営業所では、総合または国内の管理者資格が対応する。
2. 地域限定資格は海外旅行を含むすべてに対応する。
3. 海外旅行を扱う営業所でも国内資格だけで足りる。
4. 国内旅行では管理者資格が不要である。

答え・解説

正答：1. 国内旅行のみを取り扱う営業所では、総合または国内の管理者資格が対応する。

解説：国内旅行業務取扱管理者では「国内旅行のみを取り扱う営業所では、総合または国内の管理者資格が対応する。」が基本です。

要点：国内旅行業務取扱管理者

Q005

TRAVEL-1735

総合演習 / 4択 / 標準

地域限定旅行業務取扱管理者に関する記述として、最も適切なものはどれか。（確認2）

1. 海外募集型企画旅行を扱うための資格である。
2. 第一種旅行業の営業所すべてに対応する資格である。
3. 国内旅行業務取扱管理者より上位の資格である。
4. 主たる営業所所在地の隣接市町村までの範囲など、限定的な業務範囲に対応する資格である。

答え・解説

正答：4. 主たる営業所所在地の隣接市町村までの範囲など、限定的な業務範囲に対応する資格である。

解説：地域限定旅行業務取扱管理者では「主たる営業所所在地の隣接市町村までの範囲など、限定的な業務範囲に対応する資格である。」が基本です。

要点：地域限定旅行業務取扱管理者

Q006

TRAVEL-1736

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、旅行業の登録制で正しい理解はどれか。（確認2）

1. 登録は営業所ごとではなく旅行者ごとに行う。
2. 届出だけで第一種旅行業を開始できる。
3. 旅行業を営むには、業務範囲に応じた登録を受ける必要がある。
4. 旅行業法は旅行業の登録を不要としている。

答え・解説

正答：3. 旅行業を営むには、業務範囲に応じた登録を受ける必要がある。
解説：旅行業の登録制では「旅行業を営むには、業務範囲に応じた登録を受ける必要がある。」が基本です。

要点：旅行業の登録制

Q007

TRAVEL-1737

総合演習 / 4択 / 標準

第一種旅行業に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 旅行業者と旅行者との契約条件を定める基本的な約款である。
2. 旅行業者があらかじめ旅行計画を作成し、旅行者を募集して実施する旅行である。
3. 海外・国内の募集型企画旅行を含め、広い範囲の旅行業務を取り扱う。
4. 国内の手配旅行だけに限定される。

答え・解説

正答：4. 国内の手配旅行だけに限定される。

解説：誤りは「国内の手配旅行だけに限定される。」。第一種旅行業では「海外・国内の募集型企画旅行を含め、広い範囲の旅行業務を取り扱う。」が基本です。

要点：第一種旅行業

Q008

TRAVEL-1738

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、第二種旅行業の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 海外募集型企画旅行を自社で実施できる。
2. 国内の募集型企画旅行を実施できるが、海外募集型企画旅行は第一種の範囲である。
3. 旅行業者代理業者と同じ登録区分である。
4. 旅行相談契約だけが扱えない。

答え・解説

正答：2. 国内の募集型企画旅行を実施できるが、海外募集型企画旅行は第一種の範囲である。

解説：第二種旅行業では「国内の募集型企画旅行を実施できるが、海外募集型企画旅行は第一種の範囲である。」が基本です。

要点：第二種旅行業

Q009

TRAVEL-1739

総合演習 / 4択 / 標準

標準旅行業約款の位置づけに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅券発給の可否を決める。
2. ホテル建築基準を定める。
3. 旅行業者と旅行者との契約条件を定める基本的な約款である。
4. 航空機の整備基準だけを定める。

答え・解説

正答：3. 旅行業者と旅行者との契約条件を定める基本的な約款である。

解説：標準旅行業約款の位置づけでは「旅行業者と旅行者との契約条件を定める基本的な約款である。」が基本です。

要点：標準旅行業約款の位置づけ

Q010

TRAVEL-1740

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、募集型企画旅行で正しい理解はどれか。

1. 旅行者の依頼ごとに個別に企画する旅行だけを指す。
2. 旅行業者があらかじめ旅行計画を作成し、旅行者を募集して実施する旅行である。
3. 運送機関の座席販売だけを指す。
4. 旅行相談のみの契約である。

答え・解説

正答：2. 旅行業者があらかじめ旅行計画を作成し、旅行者を募集して実施する旅行である。

解説：募集型企画旅行では「旅行業者があらかじめ旅行計画を作成し、旅行者を募集して実施する旅行である。」が基本です。

要点：募集型企画旅行

Q011

TRAVEL-1741

総合演習 / 4択 / 標準

受注型企画旅行に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 旅行業者が不特定多数に募集する旅行だけを指す。
2. 旅行計画の作成や旅行費用見積りなど、相談業務を内容とする契約である。
3. 旅券・査証等の渡航手続に関する代行を内容とする契約である。
4. 旅行者からの依頼により、旅行業者が旅行計画を作成して実施する旅行である。

答え・解説

正答：1. 旅行業者が不特定多数に募集する旅行だけを指す。

解説：誤りは「旅行業者が不特定多数に募集する旅行だけを指す。」。受注型企画旅行では「旅行者からの依頼により、旅行業者が旅行計画を作成して実施する旅行である。」が基本です。

要点：受注型企画旅行

Q012

TRAVEL-1742

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、手配旅行契約の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 旅行業者が旅行サービスの提供そのものを保証する契約である。
2. 旅行者からの依頼を受けない募集広告である。
3. 旅行者の委託により、運送・宿泊等のサービスを手配する契約である。
4. 特別補償規程だけを内容とする契約である。

答え・解説

正答：3. 旅行者の委託により、運送・宿泊等のサービスを手配する契約である。

解説：手配旅行契約では「旅行者の委託により、運送・宿泊等のサービスを手配する契約である。」が基本です。

要点：手配旅行契約

Q013

TRAVEL-1743

総合演習 / 4択 / 標準

旅行相談契約に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅券を発給する契約である。
2. 航空券の発券だけを必ず伴う契約である。
3. 旅行計画の作成や旅行費用見積りなど、相談業務を内容とする契約である。
4. 添乗業務だけを行う契約である。

答え・解説

正答：3. 旅行計画の作成や旅行費用見積りなど、相談業務を内容とする契約である。

解説：旅行相談契約では「旅行計画の作成や旅行費用見積りなど、相談業務を内容とする契約である。」が基本です。

要点：旅行相談契約

Q014

TRAVEL-1744

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、渡航手続代行契約で正しい理解はどれか。

1. 国内宿泊契約だけを意味する。
2. 旅行者の健康診断を実施する契約である。
3. 航空会社が運賃を決める契約である。
4. 旅券・査証等の渡航手続に関する代行を内容とする契約である。

答え・解説

正答：4. 旅券・査証等の渡航手続に関する代行を内容とする契約である。

解説：渡航手続代行契約では「旅券・査証等の渡航手続に関する代行を内容とする契約である。」が基本です。

要点：渡航手続代行契約

Q015

TRAVEL-1745

総合演習 / 4択 / 標準

特別補償規程に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 出発駅から到着駅まで同一方向に進む基本的な乗車券である。
2. 企画旅行参加中の急激かつ偶然な外来の事故による傷害等に一定の補償を行う規程である。
3. 旅行者のすべての病気を無条件で補償する規程である。
4. 運賃は移動区間に対する基本的対価、料金は特急・指定席等の追加サービス対価である。

答え・解説

正答：3. 旅行者のすべての病気を無条件で補償する規程である。

解説：誤りは「旅行者のすべての病気を無条件で補償する規程である。」。特別補償規程では「企画旅行参加中の急激かつ偶然な外来の事故による傷害等に一定の補償を行う規程である。」が基本です。

要点：特別補償規程

Q016

TRAVEL-1746

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、旅程保証の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 旅行者の天候不満をすべて金銭補償する制度である。
2. 契約内容の重要な変更が生じた場合に、変更補償金が問題となる制度である。
3. 旅行業者が旅行代金を自由に上げる制度である。
4. 旅券紛失時に旅券を再発給する制度である。

答え・解説

正答：2. 契約内容の重要な変更が生じた場合に、変更補償金が問題となる制度である。

解説：旅程保証では「契約内容の重要な変更が生じた場合に、変更補償金が問題となる制度である。」が基本です。

要点：旅程保証

Q017

TRAVEL-1747

総合演習 / 4択 / 標準

運賃と料金の区別に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 料金は宿泊税だけを指す。
2. 運賃は移動区間に対する基本的対価、料金は特急・指定席等の追加サービス対価である。
3. 運賃は旅行保険料だけを指す。
4. 運賃と料金は常に同じ意味である。

答え・解説

正答：2. 運賃は移動区間に対する基本的対価、料金は特急・指定席等の追加サービス対価である。

解説：運賃と料金の区別では「運賃は移動区間に対する基本的対価、料金は特急・指定席等の追加サービス対価である。」が基本です。

要点：運賃と料金の区別

Q018

TRAVEL-1748

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、JR片道乗車券で正しい理解はどれか。

1. 航空券の乗継証明である。
2. 出発駅から到着駅まで同一方向に進む基本的な乗車券である。
3. 同一区間を往復する券だけを指す。
4. 宿泊予約確認書である。

答え・解説

正答：2. 出発駅から到着駅まで同一方向に進む基本的な乗車券である。

解説：JR片道乗車券では「出発駅から到着駅まで同一方向に進む基本的な乗車券である。」が基本です。

要点：JR片道乗車券

Q019

TRAVEL-1749

総合演習 / 4択 / 標準

往復乗車券に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 特急列車を利用する場合、乗車券とは別に特急料金が必要となる。
2. 鉄道の普通運賃は原則として営業キロ等を基礎に計算される。
3. 片道区間を複数に分けた券だけである。
4. 同一区間を行きと帰りで利用する乗車券である。

答え・解説

正答：3. 片道区間を複数に分けた券だけである。

解説：誤りは「片道区間を複数に分けた券だけである。」。往復乗車券では「同一区間を行きと帰りで利用する乗車券である。」が基本です。

要点：往復乗車券

Q020

TRAVEL-1750

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、連続乗車券の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 片道・往復では扱いにくい複数区間を連続して利用する乗車券である。
2. 宿泊約款上の連泊割引である。
3. 同じ駅を出発・到着にする往復券だけを指す。
4. 航空券のオープンジョーだけを意味する。

答え・解説

正答：1. 片道・往復では扱いにくい複数区間を連続して利用する乗車券である。

解説：連続乗車券では「片道・往復では扱いにくい複数区間を連続して利用する乗車券である。」が基本です。

要点：連続乗車券

Q021

TRAVEL-1751

総合演習 / 4択 / 標準

普通運賃計算に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテルの客室面積だけで決まる。
2. 乗車人数にかかわらず旅行者の年齢だけで決まる。
3. 添乗員の経験年数だけで決まる。
4. 鉄道の普通運賃は原則として営業キロ等を基礎に計算される。

答え・解説

正答：4. 鉄道の普通運賃は原則として営業キロ等を基礎に計算される。
解説：普通運賃計算では「鉄道の普通運賃は原則として営業キロ等を基礎に計算される。」が基本です。

要点：普通運賃計算

Q022

TRAVEL-1752

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、特急料金で正しい理解はどれか。

1. 特急列車を利用する場合、乗車券とは別に特急料金が必要となる。
2. 特急料金は旅行保険料の別名である。
3. 特急料金を払えば乗車券は常に不要となる。
4. 特急料金は宿泊施設が決める。

答え・解説

正答：1. 特急列車を利用する場合、乗車券とは別に特急料金が必要となる。

解説：特急料金では「特急列車を利用する場合、乗車券とは別に特急料金が必要となる。」が基本です。

要点：特急料金

Q023

TRAVEL-1753

総合演習 / 4択 / 標準

IATA都市コードに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ホテルの星数を示すコードである。
2. 航空券情報を電子的に記録し、旅客は旅程表・控え等で内容を確認する。
3. 航空予約記録を識別する予約番号・記録である。
4. 空港・都市を3レターコードで識別する実務上重要なコードである。

答え・解説

正答：1. ホテルの星数を示すコードである。

解説：誤りは「ホテルの星数を示すコードである。」。IATA都市コードでは「空港・都市を3レターコードで識別する実務上重要なコードである。」が基本です。

要点：IATA都市コード

Q024

TRAVEL-1754

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、航空会社コードの観点から最も適切な対応はどれか。

1. ホテルの客室タイプだけを示す。
2. 税関申告額を示す。
3. 旅行者の国籍を示すコードである。
4. 航空会社を識別する2レターコード等が航空券・予約で使われる。

答え・解説

正答：4. 航空会社を識別する2レターコード等が航空券・予約で使われる。

解説：航空会社コードでは「航空会社を識別する2レターコード等が航空券・予約で使われる。」が基本です。

要点：航空会社コード

Q025

TRAVEL-1755

総合演習 / 4択 / 標準

eチケットに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 航空券情報を電子的に記録し、旅客は旅程表・控え等で内容を確認する。
2. 紙券がなければ搭乗情報は存在しない。
3. eチケットは海外旅行保険証券だけを指す。
4. eチケットは旅券の代わりになる。

答え・解説

正答：1. 航空券情報を電子的に記録し、旅客は旅程表・控え等で内容を確認する。

解説：eチケットでは「航空券情報を電子的に記録し、旅客は旅程表・控え等で内容を確認する。」が基本です。

要点：eチケット

Q026

TRAVEL-1756

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、PNRで正しい理解はどれか。

1. 国際運賃の税金名である。
2. 航空予約記録を識別する予約番号・記録である。
3. ホテルの階数を表す記号である。
4. 旅券発給機関の名称である。

答え・解説

正答：2. 航空予約記録を識別する予約番号・記録である。

解説：PNRでは「航空予約記録を識別する予約番号・記録である。」が基本です。

要点：PNR

Q027

TRAVEL-1757

総合演習 / 4択 / 標準

Fare Basisに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 目的地へ向かう途中で航空便を乗り継ぐことである。
2. 往路到着地と復路出発地などが異なる航空旅程の形態である。
3. 旅券の有効期間を示す。
4. 航空運賃の種類・条件を示す運賃基礎コードである。

答え・解説

正答：3. 旅券の有効期間を示す。

解説：誤りは「旅券の有効期間を示す。」。Fare Basisでは「航空運賃の種類・条件を示す運賃基礎コードである。」が基本です。

要点：Fare Basis

Q028

TRAVEL-1758

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、ストップオーバーの観点から最も適切な対応はどれか。

1. ホテルのチェックアウトを指す。
2. 乗継地で一定時間を超えて滞在する途中降機である。
3. 機内食を選ぶことを指す。
4. 出発空港で手荷物を預けることだけを指す。

答え・解説

正答：2. 乗継地で一定時間を超えて滞在する途中降機である。

解説：ストップオーバーでは「乗継地で一定時間を超えて滞在する途中降機である。」が基本です。

要点：ストップオーバー

Q029

TRAVEL-1759

総合演習 / 4択 / 標準

トランスファーに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅券を更新することを指す。
2. 宿泊施設の部屋替えだけを指す。
3. 旅行代金を返金することを指す。
4. 目的地へ向かう途中で航空便を乗り継ぐことである。

答え・解説

正答：4. 目的地へ向かう途中で航空便を乗り継ぐことである。

解説：トランスファーでは「目的地へ向かう途中で航空便を乗り継ぐことである。」が基本です。

要点：トランスファー

Q030

TRAVEL-1760

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、オープンジョーで正しい理解はどれか。

1. ホテル予約を開放することを指す。
2. 往路到着地と復路出発地などが異なる航空旅程の形態である。
3. 航空券を未発券にすることを指す。
4. 同一区間単純往復だけを指す。

答え・解説

正答：2. 往路到着地と復路出発地などが異なる航空旅程の形態である。

解説：オープンジョーでは「往路到着地と復路出発地などが異なる航空旅程の形態である。」が基本です。

要点：オープンジョー

Q031

TRAVEL-1761

総合演習 / 4択 / 標準

旅券の役割に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 国籍・渡航目的・滞在期間等により査証が免除される場合がある。
2. 国籍・身分を証明し、外国へ渡航するための基本的な公文書である。
3. 航空券の代わりに運賃を支払う券である。
4. 渡航先国が入国を認める条件として発給する許可・推薦に関する文書等である。

答え・解説

正答：3. 航空券の代わりに運賃を支払う券である。

解説：誤りは「航空券の代わりに運賃を支払う券である。」。旅券の役割では「国籍・身分を証明し、外国へ渡航するための基本的な公文書である。」が基本です。

要点：旅券の役割

Q032

TRAVEL-1762

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、旅券の残存有効期間の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 残存期間は旅行代金の支払期限である。
2. 残存期間は航空会社が自由に短縮できる。
3. 残存有効期間はどの国でも不要である。
4. 入国条件として一定の残存有効期間を求める国・地域がある。

答え・解説

正答：4. 入国条件として一定の残存有効期間を求める国・地域がある。

解説：旅券の残存有効期間では「入国条件として一定の残存有効期間を求める国・地域がある。」が基本です。

要点：旅券の残存有効期間

Q033

TRAVEL-1763

総合演習 / 4択 / 標準

査証に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 航空会社が座席を指定する券である。
2. 日本の住民票の別名である。
3. 渡航先国が入国を認める条件として発給する許可・推薦に関する文書等である。
4. 宿泊施設の予約確認書だけを指す。

答え・解説

正答：3. 渡航先国が入国を認める条件として発給する許可・推薦に関する文書等である。

解説：査証では「渡航先国が入国を認める条件として発給する許可・推薦に関する文書等である。」が基本です。

要点：査証

Q034

TRAVEL-1764

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、査証免除で正しい理解はどれか。

1. 査証免除は旅行保険加入を禁止する制度である。
2. 国籍・渡航目的・滞在期間等により査証が免除される場合がある。
3. 査証免除なら旅券も不要である。
4. 査証は世界中で常に必要である。

答え・解説

正答：2. 国籍・渡航目的・滞在期間等により査証が免除される場合がある。

解説：査証免除では「国籍・渡航目的・滞在期間等により査証が免除される場合がある。」が基本です。

要点：査証免除

Q035

TRAVEL-1765

総合演習 / 4択 / 標準

出国手続に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ホテルでのみ完結する手続である。
2. 感染症や動植物等の持込みに関する衛生・安全上の確認である。
3. 持込品・免税範囲・現金等について、必要に応じて申告する。
4. 旅券確認、保安検査、出国審査などを経て国際線に搭乗する。

答え・解説

正答：1. ホテルでのみ完結する手続である。

解説：誤りは「ホテルでのみ完結する手続である。」。出国手続では「旅券確認、保安検査、出国審査などを経て国際線に搭乗する。」が基本です。

要点：出国手続

Q036

TRAVEL-1766

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、入国審査の観点から最も適切な対応はどれか。（確認2）

1. 入国審査は旅行会社が代わりに通過できる。
2. 渡航先国で入国目的、滞在期間、旅券・査証等を確認される。
3. 入国審査では旅券を見せてはならない。
4. 入国審査は国内線搭乗時だけに行う。

答え・解説

正答：2. 渡航先国で入国目的、滞在期間、旅券・査証等を確認される。
解説：入国審査では「渡航先国で入国目的、滞在期間、旅券・査証等を確認される。」が基本です。

要点：入国審査

Q037

TRAVEL-1767

総合演習 / 4択 / 標準

税関申告に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 申告対象物はすべて隠してよい。
2. 税関は旅行日程を作る窓口である。
3. 税関申告はホテルの朝食申込みである。
4. 持込品・免税範囲・現金等について、必要に応じて申告する。

答え・解説

正答：4. 持込品・免税範囲・現金等について、必要に応じて申告する。
解説：税関申告では「持込品・免税範囲・現金等について、必要に応じて申告する。」が基本です。

要点：税関申告

Q038

TRAVEL-1768

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、検疫で正しい理解はどれか。

1. 旅行代金の領収確認である。
2. 航空券の座席指定である。
3. 感染症や動植物等の持込みに関する衛生・安全上の確認である。
4. ホテル客室の清掃検査だけを指す。

答え・解説

正答：3. 感染症や動植物等の持込みに関する衛生・安全上の確認である。
解説：検疫では「感染症や動植物等の持込みに関する衛生・安全上の確認である。」が基本です。

要点：検疫

Q039

TRAVEL-1769

総合演習 / 4択 / 標準

海外旅行の旅程作成に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
2. 時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。
3. 時差は考慮しなくてよい。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：3. 時差は考慮しなくてよい。
解説：誤りは「時差は考慮しなくてよい。」。海外旅行の旅程作成では「時差、乗継時間、入国手続、現地移動時間を考慮して無理のない日程にする。」が基本です。

要点：海外旅行の旅程作成

Q040

TRAVEL-1770

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、現地連絡先の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 緊急連絡先は旅行者に知らせない。
2. ホテル名だけ分かれば十分である。
3. 現地連絡先は旅行後に調べればよい。
4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。

答え・解説

正答：4. 現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。
解説：現地連絡先では「現地手配会社、ホテル、緊急連絡先、保険会社窓口を整理する。」が基本です。

要点：現地連絡先

Q041

TRAVEL-1771

総合演習 / 4択 / 標準

海外ホテル予約に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 税・サービス料は常にゼロである。
2. 取消条件は現地到着後に初めて聞く。
3. 食事条件は確認不要である。
4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

答え・解説

正答：4. 宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。

解説：海外ホテル予約では「宿泊日、部屋タイプ、食事条件、税・サービス料、取消条件を確認する。」が基本です。

要点：海外ホテル予約

Q042

TRAVEL-1772

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、現地交通手配で正しい理解はどれか。

1. 集合場所は当日まで知らせない。
2. 現地交通は旅券発給機関が手配する。
3. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。
4. 利用条件は予約後も確認不要である。

答え・解説

正答：3. 空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。

解説：現地交通手配では「空港送迎、鉄道、バス、レンタカー等は利用条件と集合場所を確認する。」が基本です。

要点：現地交通手配

Q043

TRAVEL-1773

総合演習 / 4択 / 標準

外貨と支払に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. どの国でも日本円で必ず支払える。
2. 現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。
3. “ boarding pass ” は搭乗券を意味する。
4. “ check in ” は空港やホテルで搭乗・宿泊手続きをする意味である。

答え・解説

正答：1. どの国でも日本円で必ず支払える。

解説：誤りは「どの国でも日本円で必ず支払える。」。外貨と支払では「現地通貨、クレジットカード、両替、チップ習慣を確認する。」が基本です。

要点：外貨と支払

Q044

TRAVEL-1774

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、チップ習慣の観点から最も適切な対応はどれか。

1. チップは航空券の税金である。
2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。
3. チップは旅行業登録料の一部である。
4. チップは世界中で法律上禁止されている。

答え・解説

正答：2. 国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。

解説：チップ習慣では「国・地域・サービスによりチップの要否や目安が異なる。」が基本です。

要点：チップ習慣

Q045

TRAVEL-1775

総合演習 / 4択 / 標準

海外旅行英語：check inに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 旅行を取消す意味である。
2. “ check in ” は空港やホテルで搭乗・宿泊手続きをする意味である。
3. 税関で関税を支払う意味だけである。
4. 旅券を紛失する意味である。

答え・解説

正答：2. “ check in ” は空港やホテルで搭乗・宿泊手続きをする意味である。

解説：海外旅行英語：check inでは「“ check in ” は空港やホテルで搭乗・宿泊手続きをする意味である。」が基本です。

要点：海外旅行英語：check in

Q046

TRAVEL-1776

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外旅行英語：boarding passで正しい理解はどれか。（確認2）

1. 旅行保険証券を意味する。
2. 税関申告書だけを意味する。
3. “ boarding pass ” は搭乗券を意味する。
4. 宿泊約款を意味する。

答え・解説

正答：3. “ boarding pass ” は搭乗券を意味する。

解説：海外旅行英語：boarding passでは「 “ boarding pass ” は搭乗券を意味する。」が基本です。

要点：海外旅行英語：boarding pass

Q047

TRAVEL-1777

総合演習 / 4択 / 標準

海外旅行英語：baggage claimに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. “ baggage claim ” は手荷物受取所を意味する。
2. “ immigration ” は入国審査を意味する。
3. “ quarantine ” は検疫を意味する。
4. 入国審査官を意味する。

答え・解説

正答：4. 入国審査官を意味する。

解説：誤りは「入国審査官を意味する。」。海外旅行英語：baggage claimでは「 “ baggage claim ” は手荷物受取所を意味する。」が基本です。

要点：海外旅行英語：baggage claim

Q048

TRAVEL-1778

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、海外旅行英語：customsの観点から最も適切な対応はどれか。

1. “ customs ” は税関を意味する。
2. 旅程表を意味する。
3. 検疫だけを意味する。
4. 鉄道駅の改札を意味する。

答え・解説

正答：1. “ customs ” は税関を意味する。

解説：海外旅行英語：customsでは「 “ customs ” は税関を意味する。」が基本です。

要点：海外旅行英語：customs

Q049

TRAVEL-1779

総合演習 / 4択 / 標準

海外旅行英語：immigrationに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ホテル予約を意味する。
2. “ immigration ” は入国審査を意味する。
3. 機内食を意味する。
4. 旅行相談を意味する。

答え・解説

正答：2. “ immigration ” は入国審査を意味する。

解説：海外旅行英語：immigrationでは「 “ immigration ” は入国審査を意味する。」が基本です。

要点：海外旅行英語：immigration

Q050

TRAVEL-1780

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外旅行英語：quarantineで正しい理解はどれか。（確認2）

1. 座席指定を意味する。
2. 宿泊税を意味する。
3. 航空運賃を意味する。
4. “ quarantine ” は検疫を意味する。

答え・解説

正答：4. “ quarantine ” は検疫を意味する。

解説：海外旅行英語：quarantineでは「 “ quarantine ” は検疫を意味する。」が基本です。

要点：海外旅行英語：quarantine

Q051

TRAVEL-1781

総合演習 / 4択 / 標準

海外旅行保険の目的に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 航空券を必ず無料にするためである。
2. 海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。
3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
4. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。

答え・解説

正答：1. 航空券を必ず無料にするためである。

解説：誤りは「航空券を必ず無料にするためである。」。海外旅行保険の目的では「海外での傷害・疾病、携行品損害、賠償責任等のリスクに備える。」が基本です。

要点：海外旅行保険の目的

Q052

TRAVEL-1782

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、治療・救援費用の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。
2. 旅券発給手数料である。
3. 航空会社の運賃表である。
4. ホテルの朝食代だけを補償する。

答え・解説

正答：1. 海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。

解説：治療・救援費用では「海外での治療費や救援者費用に備える重要な補償項目である。」が基本です。

要点：治療・救援費用

Q053

TRAVEL-1783

総合演習 / 4択 / 標準

携行品損害に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. 税関の免税枠を増やす。
2. 旅行者の気分変化を補償する。
3. 航空券の座席を上位クラスにする。
4. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。

答え・解説

正答：4. 旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。

解説：携行品損害では「旅行中の携行品の盗難・破損等に備える補償である。」が基本です。

要点：携行品損害

Q054

TRAVEL-1784

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、賠償責任で正しい理解はどれか。

1. 旅券を再発給する補償である。
2. 自分の旅行代金を必ず返金する補償である。
3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。
4. 航空機の遅延をなくす補償である。

答え・解説

正答：3. 旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。

解説：賠償責任では「旅行中に他人に損害を与えた場合の賠償リスクに備える。」が基本です。

要点：賠償責任

Q055

TRAVEL-1785

総合演習 / 4択 / 標準

航空機遅延に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. エッフェル塔はフランスにある。
2. パリはフランスの主要観光都市・地域として知られる。
3. 遅延を物理的に防止する保険である。
4. 航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。

答え・解説

正答：3. 遅延を物理的に防止する保険である。

解説：誤りは「遅延を物理的に防止する保険である。」。航空機遅延では「航空機の遅延・欠航に伴う宿泊費等に備える特約がある。」が基本です。

要点：航空機遅延

Q056

TRAVEL-1786

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、免責事項の観点から最も適切な対応はどれか。

1. 保険には免責事項が一切ない。
2. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。
3. すべての損害が無条件で全額補償される。
4. 免責事項は旅行者が自由に消せる。

答え・解説

正答：2. 戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。

解説：免責事項では「戦争、危険行為、既往症など、補償対象外となる条件を確認する必要がある。」が基本です。

要点：免責事項

Q057

TRAVEL-1787

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：エッフェル塔に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. エッフェル塔はスペインにある。
2. エッフェル塔はイタリアにある。
3. エッフェル塔はイギリスにある。
4. エッフェル塔はフランスにある。

答え・解説

正答：4. エッフェル塔はフランスにある。

解説：エッフェル塔はフランスの代表的な観光資源として学習します。

要点：海外観光地理：エッフェル塔

Q058

TRAVEL-1788

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外観光地理：パリで正しい理解はどれか。（確認2）

1. パリは国際航空運賃の税コードである。
2. パリはフランスの主要観光都市・地域として知られる。
3. パリは旅行業約款の条文名である。
4. パリは日本の都道府県である。

答え・解説

正答：2. パリはフランスの主要観光都市・地域として知られる。

解説：パリとエッフェル塔を結びつけて覚えると効果的です。

要点：海外観光地理：パリ

Q059

TRAVEL-1789

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：コロッセオに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. コロッセオはフランスにある。
2. ビッグ・ベンはイギリスにある。
3. ロンドンはイギリスの主要観光都市・地域として知られる。
4. コロッセオはイタリアにある。

答え・解説

正答：1. コロッセオはフランスにある。

解説：誤りは「コロッセオはフランスにある。」。コロッセオはイタリアの代表的な観光資源として学習します。

要点：海外観光地理：コロッセオ

Q060

TRAVEL-1790

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、海外観光地理：ローマの観点から最も適切な対応はどれか。

1. ローマは旅行業約款の条文名である。
2. ローマはイタリアの主要観光都市・地域として知られる。
3. ローマは日本の都道府県である。
4. ローマは国際航空運賃の税コードである。

答え・解説

正答：2. ローマはイタリアの主要観光都市・地域として知られる。

解説：ローマとコロッセオを結びつけて覚えると効果的です。

要点：海外観光地理：ローマ

Q061

TRAVEL-1791

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：ビッグ・ベンに関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ビッグ・ベンはスペインにある。
2. ビッグ・ベンはイギリスにある。
3. ビッグ・ベンはイタリアにある。
4. ビッグ・ベンはフランスにある。

答え・解説

正答：2. ビッグ・ベンはイギリスにある。

解説：ビッグ・ベンはイギリスの代表的な観光資源として学習します。

要点：海外観光地理：ビッグ・ベン

Q062

TRAVEL-1792

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外観光地理：ロンドンで正しい理解はどれか。

1. ロンドンは国際航空運賃の税コードである。
2. ロンドンは旅行業約款の条文名である。
3. ロンドンはイギリスの主要観光都市・地域として知られる。
4. ロンドンは日本の都道府県である。

答え・解説

正答：3. ロンドンはイギリスの主要観光都市・地域として知られる。

解説：ロンドンとビッグ・ベンを結びつけて覚えると効果的です。

要点：海外観光地理：ロンドン

Q063

TRAVEL-1793

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：サグラダ・ファミリアに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. ブランデンブルク門はドイツにある。
2. サグラダ・ファミリアはフランスにある。
3. ベルリンはドイツの主要観光都市・地域として知られる。
4. サグラダ・ファミリアはスペインにある。

答え・解説

正答：2. サグラダ・ファミリアはフランスにある。

解説：誤りは「サグラダ・ファミリアはフランスにある。」。サグラダ・ファミリアはスペインの代表的な観光資源として学習します。

要点：海外観光地理：サグラダ・ファミリア

Q064

TRAVEL-1794

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、海外観光地理：バルセロナの観点から最も適切な対応はどれか。

1. バルセロナは国際航空運賃の税コードである。
2. バルセロナはスペインの主要観光都市・地域として知られる。
3. バルセロナは旅行業約款の条文名である。
4. バルセロナは日本の都道府県である。

答え・解説

正答：2. バルセロナはスペインの主要観光都市・地域として知られる。

解説：バルセロナとサグラダ・ファミリアを結びつけて覚えると効果的です。

要点：海外観光地理：バルセロナ

Q065

TRAVEL-1795

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：ブランデンブルク門に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. ブランデンブルク門はイタリアにある。
2. ブランデンブルク門はフランスにある。
3. ブランデンブルク門はイギリスにある。
4. ブランデンブルク門はドイツにある。

答え・解説

正答：4. ブランデンブルク門はドイツにある。

解説：ブランデンブルク門はドイツの代表的な観光資源として学習します。

要点：海外観光地理：ブランデンブルク門

Q066

TRAVEL-1796

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外観光地理：ベルリンで正しい理解はどれか。

1. ベルリンは旅行業約款の条文名である。
2. ベルリンはドイツの主要観光都市・地域として知られる。
3. ベルリンは国際航空運賃の税コードである。
4. ベルリンは日本の都道府県である。

答え・解説

正答：2. ベルリンはドイツの主要観光都市・地域として知られる。
解説：ベルリンとブランデンブルク門を結びつけて覚えると効果的です。
要点：海外観光地理：ベルリン

Q067

TRAVEL-1797

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：シェーンブルン宮殿に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. シェーンブルン宮殿はフランスにある。
2. プラハはチェコの主要観光都市・地域として知られる。
3. シェーンブルン宮殿はオーストリアにある。
4. カレル橋はチェコにある。

答え・解説

正答：1. シェーンブルン宮殿はフランスにある。
解説：誤りは「シェーンブルン宮殿はフランスにある。」。シェーンブルン宮殿はオーストリアの代表的な観光資源として学習します。
要点：海外観光地理：シェーンブルン宮殿

Q068

TRAVEL-1798

総合演習 / 4択 / 応用

次の事例で、海外観光地理：ウィーンの観点から最も適切な対応はどれか。

1. ウィーンはオーストリアの主要観光都市・地域として知られる。
2. ウィーンは旅行業約款の条文名である。
3. ウィーンは日本の都道府県である。
4. ウィーンは国際航空運賃の税コードである。

答え・解説

正答：1. ウィーンはオーストリアの主要観光都市・地域として知られる。
解説：ウィーンとシェーンブルン宮殿を結びつけて覚えると効果的です。
要点：海外観光地理：ウィーン

Q069

TRAVEL-1799

総合演習 / 4択 / 標準

海外観光地理：カレル橋に関する記述として、最も適切なものはどれか。

1. カレル橋はイギリスにある。
2. カレル橋はイタリアにある。
3. カレル橋はチェコにある。
4. カレル橋はフランスにある。

答え・解説

正答：3. カレル橋はチェコにある。
解説：カレル橋はチェコの代表的な観光資源として学習します。
要点：海外観光地理：カレル橋

Q070

TRAVEL-1800

総合演習 / 4択 / 応用

旅行業務取扱管理者試験の学習上、海外観光地理：プラハで正しい理解はどれか。

1. プラハは旅行業約款の条文名である。
2. プラハは国際航空運賃の税コードである。
3. プラハはチェコの主要観光都市・地域として知られる。
4. プラハは日本の都道府県である。

答え・解説

正答：3. プラハはチェコの主要観光都市・地域として知られる。
解説：プラハとカレル橋を結びつけて覚えると効果的です。
要点：海外観光地理：プラハ